

学術発表演習（吉野文彦）

Academic Presentation Practice (Fumihiko Yoshino)

キーワード

- ① 学術発表
- ② 学術論文
- ③ 投稿規定
- ④ 抄録
- ⑤ パラグラフ

授業概要

研究成果を広く公表するために、学術発表および学術論文の公表の基本を習得することを目的とする。具体的には、学術発表方法として(1)抄録の作成方法、(2)口演・ポスター発表方法、論文執筆方法として(3)投稿雑誌の選定・投稿規定・執筆の検討、(4)査読結果への対応、校正、投稿方法、(5)ビックデータ活用研究論文の特徴、(6)基礎系及び臨床系原著論文の特徴について講義する。さらに、学術発表演習を通じて、研究者として研究テーマに沿った学術論文を系統的に追い読解できる能力を身につけさせる。

授業科目の学修目標

本科目では、研究成果を広く公表するために必要とされる学術発表および学術論文発表の方法論について、学術発表方法の知識と学術論文の構造に着目し、俯瞰的な知識・技能を包括的に修得することを目標とする。

授業計画

- | | | |
|---------------|-----|-------|
| ① 学理論文について | 1コマ | 星 憲幸 |
| ② 学術発表の方法論 | | |
| ・抄録の作成 | 2コマ | 黒田英孝 |
| ・口演・ポスター発表 | 2コマ | 吉野文彦 |
| ③ 論文執筆の方法論 | | |
| ・ビックデータ活用研究論文 | 1コマ | 入江浩一郎 |
| ・基礎系研究論文 | 1コマ | 半田慶介 |
| ・臨床系研究論文 | 1コマ | 小牧基浩 |
| ④ 原著論文の特性 | 6コマ | 吉野文彦 |
| ⑤ 振り返り学習 | 1コマ | 吉野文彦 |

教科書および参考書

これから論文を書く若者のために 共立出版 酒井聡樹 著

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

学術発表演習では授業項目で定められた学術発表方法の知識と学術論文の仕組みを理解することが求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 学術発表の方法について説明できる。
- ② 論文執筆の方法について応用できる。
- ③ 実験系原著論文の仕組みについて説明できる。
- ④ 臨床系原著論文の仕組みについて説明できる。
- ⑤ 研究テーマに沿った学術論文を系統的に追い読解できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	70%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

レポート14回5% : 70%
試験1回30% (15回に行います。)

理想的な達成レベルの目安

学術発表演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。